

## (9) 総合的な学習研究会

会 長 段松 淑子 (西土佐小)  
副会長 森 和也 (東中筋中)  
事務局 前田 美由紀 (中村中)

### 1. 研究主題 「探究的な学びを実現する総合的な学習の時間の進め方」

### 2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和3年 8月6日(金)	総合的な学習の時間の成果と課題	中村中学校	11名参加

### 3. 令和3年度四万十市教育研究大会

今年度、8月の夏季研修会においては、各校の総合的な学習の時間の計画や実践を持ち寄り、各学校の授業が「探究的な学び」になっているかを検討した。また、これからどうすれば探究的なものになるのか、指導計画や単元計画、また他教科との違いについて小谷野指導主事から助言を頂きながら取り組むことで、「総合的な学習の時間」をどういった流れで作っていくか、「主体的に生徒が探究したいと思える授業とは」など実践例を基に、学習を進めることができた。

### 4. 今年度の成果と課題

#### 【成果】感想より

- ・特にうまくいかなかった時に、自分たちで課題を見つけ改善策を考えて、もう一度、挑戦してみるなど自分事の取り組みになっていた。自校でも地域活性化の取り組みがうまくいなくて地域をやる気にさせることが一番難しかった。協力(地域の)者を見つけることも大切だと思った。
- ・中学校の単元計画を組む時、資質能力をつける単元計画の難しさと先生方の悩みを知ることができた。小谷野先生の講話から、課題設定の大切さが分かった。普段の教科の学習の時にも資質能力をこちらがしっかりと理解し、意識して子どもたちに価値づけることをこれからもしていきたい。
- ・教師側が、曖昧な計画であったことに気づき「事実」を提示して課題に気づかせるということを教えていただいた。
- ・子どもたちの予想との「ズレ」を仕組む。そして拡散した情報を整理するための思考ツールの活用をしていきたい。

#### 【課題】

子どもに、どこまで主体性をもたせるのか、というところがどの学校からも課題にあがっており、生徒の興味・関心を引き出すに至っていないことが多く、教師側の準備や計画に偏りがちである。課題の設定や単元計画の見直し、授業計画など総合担当の教員だけが考えていることが多いので、教科横断的に各教科と関連させて、様々な視点で考えていかなければならない。

### 5. 来年度へ向けて

- ・来年度も各学校や全国の実践を共有し、その内容を協議できる場とするとともに、各学校での課題をどのように改善していくか具体的に進められるような会にしたい。
- ・これまでの体験学習と、どのように繋げてスパイラルを回していくかなどの、単元計画の見直しや授業内容の検討をしていきたい。

